

2007年度 早稲田大学 商学部

日本史 解答例

① 古代の戦乱 <やや難>

問A 1 問B 3 問C 1 問D 6 問E 2

問F 5 問G 3 問H 3 問I 6 問J 4

「適当なものがなければ6をマークせよ」のせいで消去法がきかないところが難しい。問D・E・Iが難問。

② 承久の乱・応永の乱 <易>

問A 3 問B 1 問C 4 問D 2 問E 4

問F 5 問G 1 問H 1 問I 2 問J 3

問Cは決して簡単ではないが、14年前に教育学部で「秋田城介景盛」が安達氏であることが問われていた。他の大学ではめったに出ない問題である。

③ 近世の鉄砲 <標準>

問A 5 問B 5 問C 4 問D 2 問E 3

問F 1 問G 3 問H 2・5 問I 6 問J 1

空欄イには「鉄砲」が入るが、それを確定するためにはリード文をしっかりと読解する必要があった。ここに時間を取られてしまった人も多いだろう。問A・C・Jを間違えた人は、早稲田の傾向をあまりに知らない証拠である。

④ 明治文化・近現代の銀行 <やや難>

問A 1・5 問B 1・2 問C 3・4 問D 1・3 問E 1・5

問F 2・5 問G 2・4 問H 1・4 問I 2・4 問J 1・4

商学部によく見られる、正解を2つ選ばせる正誤問題。もちろん、2つ正解して初めて得点となる。問E・G・Iが難問。

5 明治憲法体制・大正デモクラシー <やや易>

問A 欽定憲法 問B 植木枝盛 問C 統治権 問D 軍令部

問E 1890 ※解答用紙には「年」と書いてある

問F 1・5 問G 2・3 問H 5 問I 2・5 問J 4

問I・Jが難問。まぎらわしい社会運動の団体の名称は、正確に覚えておかなければならないことがわかっただろう。このレベルにとどまらず、もっと踏み込んだ学習をすべきである。

6 国家改造運動・占領政策の転換 <やや難>

問A 桜会 問B 三井合名(会社) 問C 挙国一致 問D 社会大衆党 問E 中野重治

問F 対日賠償を軽くし、過度経済力集中排除措置をゆるめた。

問G 融資の制限

問H インフレーション(を)いっきに抑制(解消)(し)

※解答用紙には「を」と「し」が書いてある

問I 地方税の独立(地方税制の再編強化)

問Eは難問だが2002年の政治経済学部では、「村の家」という作品名が問われていた。他には、問G・Iが難しかっただろう。

講評

今年度の早稲田大の日本史の中では、全学部を通して商学部が一番難しかった。正誤問題が多だけでなく、リード文を読解しながら考えて解かなければならない問題が多いため、解答に時間がかかっただろう。単なる暗記だけではなく、日本史を理解することの重要性がよくわかる出題であった。